

## 第8章 成績について

### 1. 成績評価基準

授業科目の成績評価は最高100点の点数制で評価します。成績評価は、表11に示すように、点数及び評価の方策に従い、S、A、B、C、Dにより評価します。合格はC以上（60点以上）をもって評価し、不合格はD（59点以下）をもって評価します。

表11 成績評価と点数基準

評価	素点	可否	評価の方策
S	100点～90点	合格	特に優れた成績を示したもの
A	89点～80点		優れた成績を示したもの
B	79点～70点		妥当と認められる成績を示したもの
C	69点～60点		合格と認められる最低限の成績を示したもの
D	59点以下	不合格	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの

- (1) 授業科目の成績は、**試験、レポート、演習・小問、参加姿勢**によって評価されます。シラバスには、例えば講義授業では「定期試験30点+中間試験30点+演習・小問40点=100点で評価する」ように、また実験授業では「参加姿勢40点+実験レポート60点=100点で評価する」ように、成績評価の方法が明記されています。
- (2) 合格した授業科目に対する成績の取り消しや受験のやり直しはできません。

### 2. GPA評価

GPAとは、Grade Point Average(成績評価点平均値)のことで、主体的・意欲的に学習するための有効な指標です。

- (1) 評価S, A, B, C, Dのそれぞれに対応して評価ポイントGP=4, 3, 2, 1, 0を与え、さらに授業科目の単位の値を考慮してGPAを算出します。  
[表12に成績表記とGP(評価ポイント)を示します]
- (2) 評価「-」(ハイフン)は、履修登録した科目の末受験を表しGP=0として計算されます。
- (3) 評価Nは、編入学以前や留学中の修得科目であって成績の読替不能を表し、GP=不定としてGPA算出の対象外となります。
- (4) 教職課程科目を除く、全ての履修科目の平均値としてGPAが算出されます。
- (5) 成績通知書には、履修科目の評価とGPAが記載されます。

表12 成績評価とGPA（評価ポイント）

合否	評価	G P	素点	評価の方策（Grading Policy）
合格	S	4	100～90点	特に優れた成績を示したもの（Excellent）
	A	3	89～80点	優れた成績を示したもの（Good）
	B	2	79～70点	妥当と認められる成績を示したもの（Fair）
	C	1	69～60点	合格と認められる最低限の成績を示したもの（Poor）
不合格	D	0	59点以下	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの（Fail）
評価不能	—	0	履修放棄	学修成果の評価を判断する要件を欠格している
認定	N	計算対象外		認定したもの（Pass） 入学以前に修得した科目、留学中に修得した科目のうち成績の読替ができない科目
その他	G	計算対象外	100～60点	教職科目の「教育実習指導」において3年次に「教育実習指導（事前）」に合格したものを示したもの

GPA評価は、学科によってその活用法は異なりますが、以下のとおり活用されることがあります。

- (1) 「卒業研究」の研究室配属
- (2) 学位授与式における総代などの表彰選考
- (3) 特別編入推薦者の選考
- (4) 大学院特別推薦者の選考
- (5) 奨学金の選考及び適格認定

○GPA算出は、次の計算式によって行われます。

$$\text{GPA} = \frac{4 \times \text{S修得単位数} + 3 \times \text{A修得単位数} + 2 \times \text{B修得単位数} + 1 \times \text{C修得単位数} + 0 \times (\text{D又は—の単位数})}{\text{総履修単位数 (Dと—は含むが、Nは含まない)}}$$

### 3. 合格発表（単位認定）

合格した授業科目については、所定の単位を認定します。授業科目には、半期で修得する授業科目と通年で修得する授業科目があり、前期科目の合格発表は**8月下旬**、後期科目・通年科目の合格発表は**2月中旬**に、UNIPAを通して行われます。